

はにわ通信

No.246 平成 27 (2015) 年 9 月号

展示ってどうやって
つくられるのかな…?



【のぞき見！展示の裏側】

松阪市文化財センター・はにわ館では、毎年 3 回の企画展と 1 回の特別展を行っています（平成 27 年 9 月 1 日現在）。平成 27 年度夏期企画展「続 まつさかの埴輪」もたくさんの方にご来場をいただき、先日無事に会期を終えました。そこで、今回は展示ができるまでの裏側を少しのぞき見たいと思います。

展示作業は展示企画案の作成から始まっていきます。展示企画案が決まると、資料を所蔵する博物館などへ資料を貸してもらえよう交渉をします。交渉がうまくいけば展示する資料の調査へ行ったり、借りる資料を運び込んだり、ケースに資料を並べたり…。最後は展示した資料の片づけまでいくつもの作業があります。たくさんある作業の中でも資料を展示ケースに並べる陳列作業では、数か月かけて作り上げてきた展示企画が実際にかたちになる緊張と喜びの瞬間があります。「続 まつさかの埴輪」では…



はじめはまだまだケースは空っぽ。
みんなであーでもない、こーでも
ないと考えながら…



模型も加わって…



★ やっと完成！ ★

展示作業は大変なことも多いですが、来ていただくみなさんに展示品の良さを伝えるために、最後まで手を抜かず良い展示ができるよう松阪市文化財センターの職員が一丸となって作業を行っています。10 月からは秋の特別展も始まります。みなさんに楽しんでもらえる展示ができるように現在準備を進めています。どんな展示ができるのか楽しみにしていて下さい。（担当）

【中学生の活躍…】

中学生が古代の衣装を模した服装で「はにわ館」を案内する。見学者は中学生の説明を穏やかな表情で聞いている。慣れないうちは、汗をかき、詰まりながらの説明だが、しだいに余裕がでてくる。そして、相手の顔を見ながら説明ができるようになって、表情が豊かになってくる。見学者の中には小さな子どもたちもいる。そんな時、説明の内容や言葉を分かりやすく言い換えるなどの機転のきいた対応が出てくる。

文化財センターでは平成 15 年から夏休みに中学生によるボランティアガイドの取り組みを続けています。今年は 8 月の 8 日間、市内の中学校から 17 人の参加があり、事前の研修を受けて、解説の手引きをもとに船形埴輪を中心にした常設展示の内容を見学者に説明しました。期間中に数回のガイドの機会があって、2 年続けてという生徒もいます。昨年、全国博物館大会の分科会で、これらの内容を発表したところ継続した取り組みに注目が集まりました。全国的に中高生が博物館を利用する割合が伸びないという課題がある中、地道にこの取り組みを続けています。

修了式のときの彼らの表情はやり遂げた達成感で溢れていました。これらの経験を生かし、古の歴史に関心を持ち続けてほしいと思います。



厳しかった夏も過ぎ、ようやく初秋をむかえました。鈴の森公園の木々も生氣を取りもどしています。9 月のはにわ館では常設展示「宝塚古墳の謎」を開催しています。市民ギャラリーでは児童生徒科学作品展、そして、市民の皆さんの写真展が続きます。ぜひお出かけ下さい。（所長）

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 9月の催し物予定

9 月の休館日は 7 日（月）、14 日（月）、24 日（木）、28 日（月）です。

開館時間は 9：00～17：00 です。

【はにわ館】 入館料 100 円（18 歳以下無料） * 入館は 16:30 まで

第 1 展示室 ■ 常設展「宝塚古墳の謎」



バーコード読み取り
（文化財センター情報）

【ギャラリー】 入場無料

第 2 G ■ 森川久写真展 木偶 9/5（土）～ 6（日） * 最終日は 16:00 まで

第 1, 2, 3 G ■ 平成 27 年度松阪市児童生徒科学作品展 9/12（土）～ 13（日） * 16:00 まで

第 1 G ■ ニッコールクラブ松阪支部作品展 9/17（木）～ 20（日） * 9:30～16:30 まで 最終日は 16：00 まで

第 2, 3 G ■ 華火写真展・No Photo No Life 写真展 9/17（木）～ 21 日（月） * 最終日は 16:00 まで

第 1, 2, 3 G ■ 第 56 回松阪市美術展覧会

第 1 部（絵画、彫刻・工芸） 10/3（土）～ 11（日） * 10 日は 19：00 まで 最終日は 15:00 まで

第 2 部（写真、書道） 10/24（土）～ 11/1（日） * 最終日は 15:00 まで